

市民一人ひとりの生涯学習を支援する季刊情報誌

心みても参加して!

# ゆとろぎ通信

## Vol.3

2008年11月1日発行  
(通巻11号)

発行：羽村市教育委員会  
企画：羽村市生涯学習センターゆとろぎ  
編集：ゆとろぎ協働事業運営市民の会

季刊ゆとろぎ改題  
**新装版**

連載  
私の生涯学習  
第7回

前向き思考と「歌」の特技を活かして、  
ボランティア活動で定年後を楽しむ

**小林清志さん** (68歳)  
(p.2)

ゆとろぎ開館3周年記念

**はむらの「第九」演奏会**

09年1月25日(日) (p.6)

**人形浄瑠璃文楽**

09年3月15日(日) (p.3)

**秋のゆとろぎ  
イベントガイド**

(p.6~7)



## ゆとろぎ子ども

# フェスティバル

おいでよ ゆとろぎの森へ

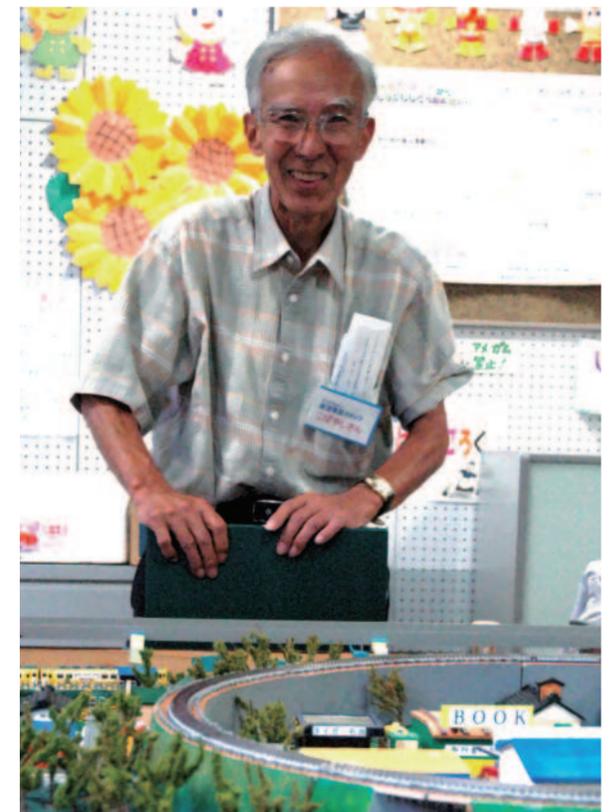
●11月8・9・16日 ●12月21日 ●1月4日  
(p.4~5)



あなたは定年後の人生をどう生きていきますか？定年後の生き方は人それぞれ、「これが正解」と言えるものはない。大切なことは「なにかをやってみよう」という前向きな思考を持つことだと小林清志（こばやし・きよし）さんは言う。歌うことがなによりも好きで、「定年後はボランティア活動を」と決めていた小林さんに体験談を聞いた。

前向き思考と「歌」の特技を活かしてボランティア活動で定年後を楽しむ

小林清志さん (68歳)



1940 (昭和 15) 年、立川市生まれ。55 歳で定年退職。再就職した会社で 60 歳を迎えたのを機に、40 年に及んだサラリーマン生活と決別。「なにか役に立てるのではないかと考え、ボランティアの世界に飛び込む。高校から始めた合唱や特技の工作技術を活かして、老人福祉施設や東児童館で喜ばれながら自らも楽しんでいる。

去る9月21日(日)、東児童館は子供たちの熱気につつまれていた。今年で9回目を迎えた「ふれあいキッズ祭り」が開幕したのだ。1階ロビーに設置された、縦4メートル横2メートルほどのジオラマの中を通勤電車や長距離列車、貨物列車などの精巧なミニチュアが走っている。子供たちは興味津々の眼差し。このジオラマを制作したのは、ボランティア活動で定年退職後の人生を楽しんでいる小林清志さんだ。

定年を目前に単身赴任

1991(平成3)年、空前の好景気が、突然、シャボン玉が弾けたかのように消滅した。金余りとまで言われた日本は不況のどん底に突き落とされ、企業の倒産が相次ぎ、サラリーマンはリストラの嵐に曝された。当時、計測機器メーカーに勤めていた小林清志さんもその一人だった。

52歳のある日、内勤業務から営業部門に配置転換、大阪へ単身赴任を命じられた。当時、会社の定年は55歳だった。定年を目前にしての配置転換、しかも単身赴任に若干戸惑ったが、暗さはなかった。「営業」ということで待遇はまだまだ

だよかった」からだ。自ら車を運んで西日本を担当。持ち前の前向き思考を發揮。慣れない営業の気疲れを訪れた各地の「社会科学」の面白さに置き換えて楽しんで。

60歳までは働く。その先は……

単身赴任4年目。55歳で会社を定年退職した。だが、隠居するにはまだ早い。60歳までは働くつもりだった。仕事探しに職安へ通い、ある都市銀行に囑託で採用された。

4年余の銀行勤めで、「銀行の中のいいところ悪いところ、全部見せてもらった」という。60歳を機に銀行を退職。「すっぱりとサラリーマン人生を卒業」した。60歳を過ぎて働く気持ちはなかった。「仕事を終えたらボランティア」と考えていた。

ちょうどその頃、羽村市福祉センターで「送迎サービス」が始まった。介助を必要とする高齢者を病院へ送り迎えすることが主な仕事だった。40代の主婦、定年前のサラリーマン、定年を迎えた人など20人程がこのボランティアに応募。「謝礼も出るとのこと、こりゃあい

い(笑)」と小林さんも名乗りを上げた。真正正銘の定年後の新たな挑戦の始まりだった。

福祉ボランティアのむずかしさ

福祉センターが用意した3台の車を20人のボランティアが交代でハンドルを握った。依頼主を無事に自宅まで送り届けたときに「ありがとうございました」のことが嬉しく、充実したボランティアだった。

だが、4年を迎えて勇退した。病院からの帰り道、往々にして「ついでにここに行つて」「あつちに寄つて」と、さながらタクシードライバーのように求められることがあった。送迎という仕事の本領を超えるサービスを当然のように要求する利用者に反感を感じた。「自分にもわがままなところがある」と小林さんは言うが、さまざまな人と接する中で福祉ボランティアのむずかしさを知った。

一方で、若者との出会いもあった。センター職員の紹介でボーイスカウトが合唱で福祉施設を訪問する際の助っ人に誘われた。それが後の老人福祉施設でのボランティアにつながった。

外へ発信したくなって

福祉センターのボランティアを辞めた後、孫とのコミュニケーションのために鉄道模型の制作を始めた。ところが、徐々に子供が遊べるレベルではなくなり、孫も関心を示さなくなった。

そこで、小林さんは「外へボランティアの発信」を始めた。「こんなことをやっています」と自己PRのチラシを制作。いろいろなところへ文字通り「発信」した。近所の商店のご主人に配布の協力をお願いしたこともある。

自己PRが功を奏し、ある老人福祉施設のイベント担当者の目に留まり、書類審査を経て晴れてボランティアとなった。「まるで入社試験みたいだった(笑)。ただ熱意があるかどうかだけ」だったと振り返る。

楽しむことが継続の力

高校時代から合唱を続けている小林さんは根っからの歌好き。「普段のイベント会では必ず一曲歌わないと気がすまない」というほど。今春、半年に一度開催される「のど自慢大会」の審査委員長を依頼された。それまで審査委員長は特

別な人をお願いしていたが、「今回は都合がつかないので、小林さんお願いします」と。なにをどうしてよいのかもわからず戸惑いつつも、審査委員長の大役を無事に終えた。「何歳まで歌えるかわからないが、歌えなくなるまで続けたい。自分自身でも楽しく、面白くやっていることが継続の力だと思つ」と言う。

いま、小林さんは「人を頼りにしたボランティア仲間ではなく、自ら進んで行動できる仲間を作りたい」と思っている。自分だけが楽しむのではなく、いっしょに楽しむことができる仲間を。

最後に、定年を迎える世代へのアドバイスを尋ねると、即座に「やりたいと思つたら、即、実行してみる」と返ってきた。「現役時代には仕事で空想に終わることが、定年退職後にはできるのですよ。やりたいと思うことができる。失敗を恐れず、やれるところから始めてみる。そこからは始める」と前向きな姿勢の大切さを語ってくれた。「亭主が外に出ると家庭内の空気もよくなる」とも。さて、あなたは定年後の人生をどう生きていきますか？

「なにかやってみたい」「どんなことができるの？」etc. 『市民活動・ボランティアセンターはむら』が、さまざまなニーズにお応えします

6月28日(土)、羽村市コミュニティセンター2階に『市民活動・ボランティアセンターはむら』が開設されました。

同センター設立の目的は、羽村市内で活動する各種団体の情報収集、相互連携、市民への情報提供、市民活動の相談などを行い、羽村市の市民活動・ボランティア活動のなご一層の活性化を目指すことにあります。

市民の一人ひとりが持っている潜在的なヒューマンパワーを地域社会に提供していただき、住み良い「ふるさとむら」の新たな創造に参画していただくことを期待しています。

そのため『市民活動・ボランティアセンターはむら』の窓口あるいは情報コーナーでは、市民活動やボランティア活動に関するさまざまな情報をご案内しています。また、ボランティアの入門講座や講習会なども随時開催し、助成金の情報なども提供しています。

人と人を結びつけ、それぞれの持てる力を効果的に発揮し、暮らしやすい“まち”を市民のみなさんとともにつくっていく、そんなセンターを目指しています。「なにかやってみたい」と思っている方は一度訪ねてみてはいかがでしょうか。もちろん、電話での問合せもOKです。

Map showing the location of the Community Center and various facilities like the fire station, health center, and post office. Includes contact information for the center: 〒205-0003 羽村市緑ヶ丘5-2-6, Tel: 042(578)5252, Fax: 042(578)5253.

ゆとろぎ開館3周年記念公演のご案内

●開催日 2009年3月15日(日)

<昼の部> 開場 13:00 / 開演 13:30 (所要 2時間 50分)

おはなし(あらすじ) 10分  
「一谷嫩軍記」熊谷桜の段 25分  
熊谷陣屋の段 85分  
(休憩 15分)  
「紅葉狩」35分

<夜の部> 開場 17:30 / 開演 18:00 (所要 2時間 50分)

おはなし(あらすじ) 10分  
「二人三番叟」18分  
休憩 15分  
「御所桜堀川夜討」弁慶上使の段 52分  
(休憩 15分)  
「傾城恋飛脚」新口村の段 60分

●チケット情報(昼・夜どちらか1回につき)

(前売り) 大人 3,000円 / 大学生以下 1,000円  
(当日) 大人 3,500円 / 大学生以下 1,500円  
(団体(10人以上)割引) 大人のみ 2,500円

<前売り開始予定>

11 / 15日(土) から ゆとろぎチケットカウンター  
16日(日) から スポーツセンター  
マルフジ(青梅・羽村・福生市内10店)  
17日(月) から 西多摩新聞社チケットサービス

Q ゆとろぎで「人形浄瑠璃文楽」というのをやるんだけど、「人形浄瑠璃文楽」ってなに?  
A 能や雅楽は去年、一昨年とゆとろぎで公演をやったから知ってるよね。  
Q 日本の古典芸能だよ。確か世界文化遺産にもなってる。  
A その通り。で、「人形浄瑠璃文楽」も歌舞伎や能、雅楽と同じ日本の古典芸能、伝統芸能の一つなんだ。  
Q それくらいは知ってる。  
A 江戸時代の初期に関西で浄瑠璃という「語り音楽」と人形芝居が合体して「人形浄瑠璃」として「歴史物」と「世話物」とがあって、当時、実際にあった心中事件を題材に取り上げた近松門左衛門は、ま、ベストセラー作家というところかな。  
Q 「大流行した」って言ったけど?  
A 当時の人は歌舞伎や文楽など芝居見物が大好きで、朝早くから弁当持参で1日かけて行ったそう。幕の内弁当というのは、芝居の合間に食べたところから生まれ

Q ホントに?  
A で、当時いちばん人気があった劇場が「文楽座」で、いつの間にか、浄瑠璃見物に行くことを「文楽に行く」と言うようになった。つまり、「文楽」が人形浄瑠璃の通称となったんだ。そう。Q 「文楽」って劇場の名前だったんだ。  
A 人形浄瑠璃は、三味線と浄瑠璃(語り)と人形の三者が一体となった、現代流に言えばライブ・セッションと言えるかもしれない。  
Q そうか、ライブなんだ。  
A その面白さは、なんととっても人形の動きだろうね。1体の人形を3人で操り、登場人物の心情までも表現すると言われている。  
Q 『八犬伝』とか『三国志』をテレビで観た記憶があるよ。  
A 「文楽」は現在でも年間を通して各地で公演が行われていて、ゆとろぎでの公演は文楽協会に日程をやりくりしてもらって実現したんだよ。  
A ゆとろぎ公演は貴重な公演なんだ。  
Q それだけじゃないよ。二人の人間国宝、三味線の鶴澤寛治さんと人形遣いの吉田文雀さんが出演されるんだ  
A それって、千載一遇のチャンスってことだよ。文楽、観てみたい!

人形浄瑠璃文楽

古典芸能鑑賞会 (ゆとろぎ開館3周年記念)



シンガーソングライター

ゆとろぎライブ Vol.2

古瀬陽子コンサート

ゆとろぎでは初めてのシンガーソングライター、古瀬陽子さんのライブです。古瀬さんは福岡県久留米市出身。高校時代はスポーツに没頭し、勉強にはまったく関心がなかったそうですが、大学で心理学という学問に出会い一心に勉強。成績優良につき、4年間学費免除の特待生に。2年生のとき、憧れていたロンドンへ留学。そこで将来は音楽で生きる決意をしたそうです。というのも、小さな頃からお父さんの影響でビートルズを聴いて育ったからだとか。

95年、YAMAHA Teen's Music Festival Vocal Contest in FUKUOKA で最優秀賞を受賞、99年『デジタルツーカーギガ IN 九州大会』Final Champion、00年上京。02年ファーストアルバム『こんな夜に』を発売。04年、映画『ロード88～出会い路四国へ～』の挿入歌『夢は夢のままで』を制作し、ファーストシングルとして発売。現在、吉祥寺、立川を中心に中央線沿線のライブハウスを拠点に活躍しています。

プロフィール紹介によるとビートルズ、ギルバート・オサリバン、10CC、クイーン、ジャクソン5、ビリー・ジョエル、ホール&オーツが好きなアーティストだそうです。古瀬さんのイメージがなんとなくわかるような気がしませんか。古瀬さんの音楽とおしゃべりでライブハウス気分をお楽しみください。

12 / 13

土

開場 18:00  
開演 18:30

ゆとろぎ小ホール (全席自由)

11月1日(土)  
チケット販売開始

大人 (前売) 1,500円  
(当日) 1,800円  
小学生~高校生 (前売) 800円  
(当日) 1,000円





主催：子どもと文化のNPO子ども劇場西多摩  
協力：ゆとろぎ協働事業運営市民の会

# カンジヤマ・マイム

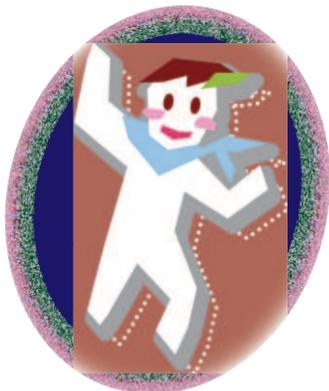
The Variety Show of English & Pantomime!  
英語とマイムのバラエティー

12/21 日

開場 18:30  
開演 19:00

<入場料>  
大人・子供共通  
前売り 1,800円  
当日券 2,000円

カンジヤママイムが提案する、動きながら、そして笑いながら楽しんで覚えるマイムによる英語塾。日常表現が口をついて出てきます。英語って実は簡単で楽しいんだ！動いてしゃべるとすぐに役立つ！マイム芸を楽しんで、英語で話しちゃおう！今、時代は楽しむ英語教育なのだ！（小学4年生以上の作品です）



キャラクター・デザイン：笠原優子

新聞もテレビもラジオもない時代、ニュースを伝えるのは「ひろめ屋」の仕事。ある日、すごいニュースが町中に広がった。この国の殿様に唐の国からはるばる海をこえて贈り物が届いた……。ゾウの「久郎衛門」が“優しい心”と“勇氣”を教えてくれる心温かなストーリーと、歌舞伎や人形浄瑠璃、忍者の殺陣も登場する“わくわく”のミュージカル。

## 劇団四季ファミリーミュージカル



1/4 日

開場 15:30  
開演 16:00

<入場料>  
大人（前売）3,800円  
（当日）4,300円  
3歳～高校生  
（前売）1,800円  
（当日）2,300円

※各公演のチケットは下記で取り扱っています。  
ゆとろぎチケットカウンター ☎ 042-570-0707  
スポーツセンター ☎ 042-555-0033  
西多摩新聞社チケットサービス ☎ 0120-61-3737  
マルフジ各店（羽村・福生・青梅）  
※「カンジヤマ・マイム」はゆとろぎチケットカウンター  
のみの取り扱いです。

11月8日（土）、子どもたちの健全な成長を願って制定された「青少年健全育成の日」を迎え、「青少年フェスティバル」が行われます。これに併せて『子どもフェスティバル』を左ページの一覧表に示した日程で開催します。参加型児童劇の公演、公募によるパフォーマンス、遊びと体験の広場など盛りだくさんのイベントがみんなを待っています。年明けには劇団四季のミュージカルもやってきます。さあ、みんなゆとろぎに、きて！みて！参加して！

お話ミュージックシアター

# お菓子の船



11/16 日

開場 13:30  
開演 14:00

<入場料>  
大人 1,000円  
4歳～高校生 500円

お菓子でできたふしぎな船「ミルフィーユ号」は、ある日、迷子になった赤ちゃんクジラの面倒をみることになる。水夫達は、釣った魚や特大ケーキを赤ちゃんクジラに食べさせたり、子守唄を歌ってあげたり、お母さんとはぐれた赤ちゃんクジラを励ましながら仲良く船の旅を続ける。あるとき、大嵐に見舞われ、あやうくミルフィーユ号は沈没しそうになるのだが……

むかしむかし  
ゾウがきた



# ゆとろぎ子ども

## フェスティバル

おいでよ ゆとろぎの森へ

●11月8・9・16日 ●12月21日  
●1月4日

11月8日(土)		9日(日)		16日(日)			
大ホール他	<b>■青少年健全育成の集い</b> <b>■青少年フェスティバル</b> ○アトラクション ○青少年による模擬店(11:00~14:30) ○ポスターコンクール作品展示(佳作以上) ○各地区委員会の活動展示	小ホール	パフォーマーズフェスタ U-20 (公募による20歳以下の個人・グループによるパフォーマンス)	14:00~ 入場無料	小ホール	お話ミュージックシアター <b>お菓子の船</b> 大人1000円 4歳~高校生500円 開場13:30 開演14:00	
		大ホール	お菓子の船乗組員講座 (応募は締め切りました)	13:30~ 16:00			
		1コ レナ 前モ	模擬店	10:00~ 15:00			
講座室(2階)	子ども映画会 (16ミリ映像研究会による子ども向け映画の上映/入場無料)		10:30~ 11:30	12月21日(日)			
	お化け屋敷 (近隣高校演劇部による森をイメージしたお化け屋敷/入場無料)		10:00~ 15:00	小ホール	<b>カンジヤマ・マイム</b> 英語とマイムのバラエティー 大人・子ども共通 (前売)1,800円 (当日)2,000円 開場18:30 開演19:00		
創作室・和室・保育室(3階)	お茶会 (羽村高校茶道部による茶道教室/参加費1人100円)	生け花教室	10:00~ 15:00				
	紙ひこうき教室						
	ぬり絵遊び						
	科学遊び						
	クリスマス飾りを作ろう						
	おもちゃのひろば						
	森の工作室						
	ふくらむスライム遊び						
大きな象だゾウ~(劇団四季の公演で飾る象を作る)							
乳児向けイベント							
交流ひろば他	シャボン玉遊び		10:00~ 15:00	大ホール	劇団四季ファミリーミュージカル <b>むかしむかしゾウがきた</b> 大人(前売)3,800円 (当日)4,300円 3歳~高校生 (前売)1,800円 (当日)2,300円 開場15:30 開演16:00		
	大道芸		随時				
展示室	切り絵体験		10:30~ 16:00				
館内	森の探検遊び						
※イベントの内容・時間などは変更になる場合があります。 ※公演以外のイベントにはチケットの購入・参加の事前申込みは必要ありません。当日会場へ直接お越しください。 ※「参加費」を表示していないイベントでも費用(100円程度)がかかる場合があります。 ※公演の事業には1歳半~就学前児童を対象にした「一時保育(有料・要予約・先着各15名)」があります。希望者はゆとろぎ窓口へお問合せください。							

# 秋のゆとろぎ イベントガイド

「天高く馬肥ゆる秋」を迎えて、市内は体育祭、産業祭、文化祭で大賑わい……と思ったら、もうすぐ年末、そして、新年の声さえ聞こえてきました。季節の移り変わり、早いですねえ。でも、冬を迎えるゆとろぎは新しいイベント、講座が目白押し。寒さなんて吹き飛ばす勢いです。

## イベント

### ゆとろぎ子どもフェスティバル

11月8(土)・9(日)・16日(日)  
12月21日(日)・1月4日(日)  
今年、「青少年健全育成の集い」及び「青少年フェスティバル」に併せて行います。詳細は本誌4〜5頁参照。

### ゆとろぎでお正月を遊ぼう!

1月10日(土) 正午〜午後4時  
ゆとろぎのお正月恒例イベント「ゆとろぎでお正月を遊ぼう!」がまたやってきます。お正月には付きもの遊び、羽根つきや双六、書初めなどに加え、ミニコンサート、お茶会もあります。自宅でのんびりお正月しているのにもちよつと飽きちゃった人は、ゆとろぎに散歩がてらお立ち寄りください。

## ギャラリー

### 多摩切り絵展

11月5日(水)〜16日(日)  
午前10時〜午後5時  
入場無料

筆で描いた絵画とはちよつと趣きの違う「切り絵」の展示です。8、9日には子どもフェスティバルのイベントも兼ねて、切り絵教室が開催されます。最終日は午後4時まで。

### 中根喜七郎氏寄贈作品展III

1月21日(水)〜25日(日)  
午前10時〜午後5時  
入場無料

こよなく絵画を愛した故中根喜七郎氏が長年月をかけてコレクションした多彩な水彩画、油絵など約300点の中から選んで展示します。

## 講座・教室

### 子育て中のお母さんのための講座

□Aコース(受付は終了しました)  
「クリスマスリースづくり」

### □Bコース

「押し花アート」  
12月4・18日(木)  
午前9時30分〜11時30分

### □Cコース

「ちぎり絵づくり」  
1月15・29日(木)  
午前9時30分〜11時30分

### □Dコース

「スクラップブックング」  
2月3・17日(火)  
午前9時30分〜11時30分

講座を受講している間に一時保育(1人500円)があります。子育てで忙しいお母さん、ゆとろぎでちよつと息を抜いてみてはいかがでしょう。定員は各コース20名で先着順。参加希望者は各コースの開始日の10日前までに☎または直接ゆとろぎ窓口へお申込みください。

### 初心者のための わかりやすい詩吟体験教室

11月15・22・29日(土)  
午後1時〜3時  
受講料900円(全3回)

詩吟の発声は健康維持にも役立つそうです。運動はちよつと苦手な方にはうってつけです。一時保育あり。受講定員は15名で先着順に受け付けます。参加希望者は11月5日(水)までに☎または直接ゆとろぎ窓口へお申込みください。

### 踊って学べるフラダンス

11月18・25日・12月2・9日(火)  
午後2時〜4時  
受講料1200円(全4回)

フラダンスは美容にも健康にもよいと静かなブームだとか。一時保育あり。受講定員は15名。応募締切りは11月7日(金)。(講座申込みの注意)を参照)

### お正月の花を生けましょう!

12月26日(金)  
午後1時30分〜3時30分  
受講料2000円  
希望者は自分のお気に入りの

## ゆとろぎ開館3周年記念

# はむらの「第九」演奏会

## 市民が唱う「歓喜の歌」が羽村に響く

来月1月25日(日)、「歓喜の歌」として有名なベートヴェンの交響曲第九番作品125合唱付、つまり「第九」の演奏会がゆとろぎ大ホールで行われます。

生涯学習センターゆとろぎの開館3周年を迎えたことを機に開催されるもので、本年春、市民への呼びかけに対し、有志160人が応募。並木心羽村市長を名誉団長に迎えて「はむらの第九合唱団」を結成し、およそ20回におよぶ楽しいながらも厳しい練習を乗り越えて、晴れの演奏会を迎えます。

演奏会には、指揮者に遠藤浩史氏、二期会所属のオペラ歌手、山口道子氏(ソプラノ)、橘今日子氏(メゾソプラノ)、大野徹也氏(テノール)、黒田博氏(バリトン)

開演日 09年1月25日(日)  
会場 ゆとろぎ大ホール  
開場午後1時30分  
開演午後2時  
入場料 大人1000円  
小学生・高校生500円

※未就学児は入場できません。  
※一時保育(有料・要予約)があります。

花器に生けることもできません。一時保育あり。受講定員は20名。応募の締切りは12月12日(金)。(講座申込みの注意)を参照)

### エネルギー・環境を考えた!

12月6日(土) 入場無料  
午後1時30分〜3時30分  
地球温暖化によるさまざまな弊害が懸念されています。日常生活の中で私たちにできる「身近なエコ」を考えます。一時保育あり。受講定員40名。受講申込みは☎または直接ゆとろぎ窓口へ。

### 我が家から地域社会までのエネルギーウォッチング

12月6日(土) 入場無料  
午後1時30分〜3時30分  
地球温暖化によるさまざまな弊害が懸念されています。日常生活の中で私たちにできる「身近なエコ」を考えます。一時保育あり。受講定員40名。受講申込みは☎または直接ゆとろぎ窓口へ。

### 初心者ハーモニカ講習会

1月30日〜2月27日の毎週金曜日  
午後6時30分〜8時30分  
受講料4000円(全5回)  
ときに哀愁を帯びた音色が古

をソリストに迎え、羽村フィルハーモニー管弦楽団がオーケストラを務めます。

市民のみなさんとともにゆとろぎ開館3周年を迎えた「喜び」を大ホールいっぱい響かせたいと、本番まで残り数なくなつた練習に一段と熱が入っています。みなさんも奮ってご来場ください。

演奏会の日程は左記の通りです。  
開演日 09年1月25日(日)  
会場 ゆとろぎ大ホール  
開場午後1時30分  
開演午後2時  
入場料 大人1000円  
小学生・高校生500円

※未就学児は入場できません。  
※一時保育(有料・要予約)があります。



## 講座申込みの注意

■「一時保育」は有料(子ども1人につき、平日500円、土日祝日及び夜間700円)で予約が必要です。希望の方は受講申込みの際にお申込みください。

■本欄で紹介した講座・教室を受講したい方は、往復ハガキに講座名・受講希望者の氏名・住所・電話番号・保育利用の有無(有の場合は児童の人数・年齢)を明記の上、締切り日までにゆとろぎに到着するようにご投函ください。ゆとろぎ窓口で直接申込み場合は日本郵便通常ハガキ1枚を持参ください。(申込先)

生涯学習センターゆとろぎ  
〒2005-1000  
羽村市緑ヶ丘1-11-5  
042(570)0707

# 11月～1月のイベント日程

※本欄には、羽村市・羽村市教育委員会・ゆとろぎ市民の会・羽村市文化協会が主催・共催・後援・協力する事業のみを掲載しています。

※各月の詳しいイベント日程は「ゆとろぎイベントガイド」(毎月15日発行)をご参照ください。

※ゆとろぎは祝日を除く月曜日が休館日です。

	11月	12月	1月
交流ひろば他			<b>NEW</b> ゆとろぎでお正月を遊ぼう! 羽根つき・人間双六・お茶会・書初め・サロンコンサートなどなど、ゆとろぎで a happy new year! 1/10 (土) 12:00～16:00 入場無料 (お茶会のみ有料)
大ホール	<b>NEW</b> 超邦楽 ユニットささかま 大人 前売3,000円/当日3,500円 中学生以下 1,000円 11/23 (土) 開場 14:00 開演 14:30 全席指定/一時保育		<b>NEW</b> 劇団四季ファミリーミュージカル むかしむかしゾウがきた (子どもフェスティバル) 大人 前売り3,800円・当日4,300円 3歳～高校生 前売り1,800円・当日2,300円 1/4 (日) 開場 15:30 開演 16:00 全席指定
	<b>NEW</b>		<b>NEW</b> ゆとろぎ開館3周年記念 「はむらの第九」演奏会 大人1,000円/小学生～高校生500円 1/25 (日) 開場 13:30 開演 14:00 未就学児の入場不可 一時保育(有料・要予約)
小ホール	<b>NEW</b> パフォーマーズフェスタ U-20 (子どもフェスティバル) 11/9 (日) 開場 13:30 開演 14:00 入場無料	ゆとろぎライブ Vol.2 古瀬陽子コンサート <b>NEW</b> 大人 前売り1,500円・当日1,800円 小学生～高校生 前売り800円・当日1,000円 (当日券は前売が残ったとき販売) 12/13 (土) 開場 18:00 開演 18:30 全席自由	子ども映画会 1/11 (日) 10:30～11:30 入場無料
	ゆとろぎ寄席(第16回) 三遊亭好二郎改め兼好・柳家右太衛門・三遊亭好の助 前売り1,000円・当日1,200円 (当日券は前売が残ったとき販売)	ゆとろぎ寄席(第17回) 前売り1,000円・当日1,200円 (当日券は前売が残ったとき販売)	
	お話ミュージックシアター お菓子の船 <b>NEW</b> (子どもフェスティバル) 11/16 (日) 開場 13:30 開演 14:00 全席自由	ゆとろぎ映画劇場(第8回)	
		カンジヤマ・マイム 英語とマイムのパラエティ <b>NEW</b> (子どもフェスティバル) 大人・子ども共通 前売り1,800円・当日2,000円	12/21 (日) 開場 18:30 開演 19:00 ※チケットはゆとろぎ窓口でも販売
展示室	多摩切り絵展 <b>NEW</b> 11/5(水)～16(日) 10:00～17:00 (最終日は15:00閉場) 入場無料		中根喜七郎氏寄贈作品展Ⅲ 1/21(水)～25(日) 10:00～17:00 (最終日は16:00閉場) 入場無料
	切り絵教室 (子どもフェスティバル) 11/8(土)・9(日) 10:00～17:00 入場無料		
講座室1	子ども映画会 (子どもフェスティバル) 11/9(日) 10:30～11:30 入場無料	子ども映画会	12/14(日) 10:30～11:30 入場無料
		<b>NEW</b> エネルギー・環境を考えよう! 我家から地域社会までの エネルギーウォッチング 定員:40名/一時保育あり(有料・要予約)	12/6(土) 13:30～15:30 入場無料
講座室2	パソコン講座 <年賀状作成> 受付終了	パソコン講座 <パソコン入門> 定員:15名/受講料:1,500円(全4回) 申込み締切:11月15日(土)までに往復ハガキでゆとろぎへ。	12/5・12・19・26(金) 10:00～12:00 パソコン講座 <word初級> 定員:15名/受講料:1,500円(全4回) 申込み締切:12月15日(月)までに往復ハガキでゆとろぎへ。
	<b>NEW</b> 子育て中のお母さんのための講座 Aコース「クリスマスリースづくり」 受付は終了しました	子育て中のお母さんのための講座 Bコース「押し花アート」	12/4・18(木) 9:30～11:30 子育て中のお母さんのための講座 Cコース「ちぎり絵づくり」 1/15・29(木) 9:30～11:30
創作室1		定員:20名(先着順) 受講料:1,000円/一時保育あり(有料・要予約)	※申込み締切:開始日の10日前までに電話か直接ゆとろぎ窓口へ。
		<b>NEW</b> お正月の花を生けましょう! 定員:20名/受講料:2,000円 一時保育あり(有料・要予約) ※自分の花器を持参することも可。	12/26(金) 13:30～15:30 ※申込み締切:12月12日(金)までに往復ハガキでゆとろぎへ。ゆとろぎ窓口で申込みの場合は日本郵便通常ハガキ1枚を持参。
			2月 子育て中のお母さんのための講座 Dコース「スクラップブック作り」 定員:20名(先着順) 受講料:1,000円 一時保育あり(有料・要予約)
会議室	初心者のための わかりやすい詩吟体験教室 定員:15名 受講料:900円(全3回) 一時保育あり(有料・要予約)	11/15・22・29(土) 13:00～15:00 ※申込み締切:11月5日(水)までに☎または直接ゆとろぎ窓口へ。	
リハーサル室	踊って学べるフラダンス 定員:15名/受講料:1,200円(全4回) 一時保育あり(有料・要予約) ※申込み締切:11月7日(金)までに往復ハガキでゆとろぎへ。ゆとろぎ窓口で申込みの場合は日本郵便通常ハガキ1枚を持参。	11/18・25・ 12/2・9 毎週火曜日 14:00～16:00 <b>NEW</b>	<b>NEW</b> 初心者ハーモニカ講習会 受講料:4,000円(全5回) ※ハーモニカをお持ちでない方は購入を斡旋します。詳細はゆとろぎへお問合せください。 ※申込み締切:1月16日(金)までに往復ハガキでゆとろぎへ。窓口で申込みの場合は日本郵便通常ハガキ1枚を持参。 1/30～2/27(全5回) 毎週金曜日 18:30～20:30
			<b>NEW</b> 親子で歌おう!合唱体験講座 受講料:1組1,500円(全6回) 対象:5歳～小学6年生の児童と保護者 定員:15組/一時保育あり(有料・要予約) ※申込み締切:1月17日(土)までに往復ハガキでゆとろぎへ。窓口で申込みの場合は日本郵便通常ハガキ1枚を持参。 1/31～2/28の毎週土曜日と3/8(日) (全6回) 14:00～15:30



「ゆとろぎクラブ」のコーナーはゆとろぎと市民の皆さんをつなぐ紙面スペースです。ゆとろぎの裏話やちょっとした話題をお伝えします。市民の皆さんからの投稿あるいは情報の提供も歓迎です。気軽にご応募ください。

### 天井の高さが作品を活かしてくれた KASURI 展 — 織物作家・工藤いずみさん



期間中に機織りの実演・体験教室が行われ会場は大賑わい。繊細な色使いと「織り」の面白さに魅了された来訪者から講座開催の要望も出るほどの人気。

9月16日から6日間、ゆとろぎ展示室において羽村市出身の織物作家・工藤いずみさんの『KASURI〜光と風を織る〜』が開催された。

「展示室の高さが良かったですね。他のギャラリーでは3尺あるかどうかなので」と工藤さん

ゆとろぎ展示室は天井の高さが5・65尺ある。この高さによって、中央に展示した2枚の白の布の配置がすぐに決まった。「天井の高さと壁の白さのおかげで、布をのびやかに展示することができました」。

工藤さんはこれまでに各所で個展を行っているが、生まれ故郷の羽村では初めての個展だった。全45点の作品を展示し、そのうち17点が大作である。「大きな布を織るには、イメージをふくらませるのに半年以上、1枚の作品として完成させるには1年かかることも珍しくない」とのこと。今回の展示のために、新たに7点を仕上げた。ゆとろぎでの展示にあたって

は、展示室の構造や特性をよく知る市民の会展示部会がサポート。「初めての会場ではわからないことが多々あるのですが、市民の会の皆さんに支えられて、ぬくもりのある展示ができました。こういう支援はゆとろぎならではのメリットですね」と話す。「工藤さんの作品を初めて見る人もいるから、以前からの作品も並べてみては」などのアドバイスが嬉しかった。また、「ゆとろぎでの開催をポスターで知って、来てくれた人がたくさんいて驚きました。実家に連絡をくださった方もいたりして……」ここで個展を開いて本当に良かった」と心から喜んでた。「新たな作品が仕上がる3年後くらいに、また、ゆとろぎで個展を開きたい」とも。どんな作品と出会うのか楽しみだ。

### 大田文化の森運営協議会のみなさんと交流

10月9日(木)、大田区の文化施設、「大田文化の森」から運営協議会のみなさん(40名)がゆとろぎを訪問し、ゆとろぎの施設見学の後、ゆとろぎ協働市民の会と交流を行いました。「大田文化の森」は旧大田区役所跡地にできた「大田区文化活動支援施設」の中核をなす施設で、区民が主体となつて地域の活性化、区民文化活動の支援、新たな区民文化の創造と発信に取り組んでいます。



施設の管理は(財)大田区文化振興協会が行い、事業の企画運営は大田区民を主体とする大田文化の森運営協議会が行っています。市民協働の先進的な事例地として注目を集め、ゆとろぎの開館に際して同地を訪問し、多くの貴重な参考知識を吸収させていただきました。今回、大田文化の森の方々からゆとろぎにおける行政と市民の会による協働運営に高い関心を持たれたことがきっかけとなつて交流が実現したものです。2時間という短い時間でしたが、「市民主体の運営」という共通の理念をさらに前進させるよう意見交換を行い、友好を深めることができました。ゆとろぎからは、開館3年目を機に来年の2月に開催が予定されている生涯学習フォーラムへの参加を要請し、今後も相互交流を誓い合つて閉会となりました。

### 『花いっぱいコンクール』で ゆとろぎの花壇が優秀賞受賞

…… 植栽スタッフの努力が認められました

今夏実施の『花いっぱいコンクール』(主催・羽村市観光協会)の「花壇の部」でゆとろぎの花壇が優秀賞を受賞しました。

同コンクールは毎年春・夏の2



回実施しているもので、町内会・自治会と事業所を対象とした花壇の部と街路の部、学校・幼稚園・保育園の部の3部門で行われています。審査は、花をデザイン良く植えているか、成長は良いか、管理は行き届いているかなど、総合的に判断されます。

ゆとろぎの花壇は、市民の会の植栽スタッフ(ゆとろぎサポートグループ)が毎日のように花の植え付けや雑草取り、枝の刈り込みなどに気を配り、暑い時も寒い時も日々がんばっています。「ゆとろぎを訪れる人が気持ちよく利用してくれれば…」とのスタッフの思いが今回の受賞につながりました。ゆとろぎにお越しの際は、植栽スタッフが丹精して管理している、ゆとろぎの花壇や街路樹にちょっと注目してください。

編集 ■ 江久保千英・関根和美・長尾晃・日下田まや・平田栄一・福佐健一・古澤義隆・堀茂子・村山利夫・山本豊・横田轟

印刷 ■ (株) 東光社  
〒114-0013  
東京都北区東田端1-12-19  
03(3810)9331

写真 ■ 平田栄一・村山利夫

無断転載を断ります。  
Copyright ©2008 by YUTOROGI  
All rights reserved.



無断転載を断ります。  
Copyright ©2008 by YUTOROGI  
All rights reserved.

# ゆとろぎ通信

2008年11月1日改題発行(通巻11号)

発行 ■ 羽村市教育委員会

企画 ■ 羽村市生涯学習センターゆとろぎ  
編集 ■ ゆとろぎ協働事業運営市民の会

〒205-0003  
羽村市緑ヶ丘1-11-5  
042(570)0707  
FAX 042(570)6422  
http://www.city.hamura.tokyo.jp